

シューズのサーキュラーデザイン「NIMBUS MIRAI」



プロジェクト概要

リサイクルを困難にする要因に徹底的に向き合ったシューズ

株式会社アシックスは創業時より、創業哲学である「健全な身体に健全な精神があれかし」の実現を目指している。そのためには、快適に走れる健やかな地球環境が不可欠と考える同社は、高いパフォーマンス性能を備えながらも、シューズがリサイクルしにくい要因に徹底的に向き合った「NIMBUS MIRAI」を開発。

シューズがリサイクルできない主な理由は、「分別できないアッパーとソール」、「複数の異素材で構成」、「リサイクルの仕組みの未整備」の3つ。こうした課題に対して、分離可能な接着剤の活用や、ポリエステル単一素材での構成を目指し、取り組んできた。また、連携パートナーと協力し、使用済みシューズを回収する仕組みも整備。



<開発ストーリーや回収プロセスにリンクするQRコードの印字>



<リサイクルしにくい原因の一つだったシューズの分解が容易>

Rethink Designのポイント

しっかりしたものづくりに取り組み、高いパフォーマンス性能とサステナビリティの両立を実現

<Rethink: モノ自身やその関わり方に対する価値の捉えなおし>

- 世界では年間約239億足の靴が生産され、そのうち95%に相当する2,000万トンの靴が廃棄されている。ごみゼロに取り組む自治体訪問時に、リサイクルが難しいものの一つにシューズが挙げられていた。こうした現状に危機感を抱き、シューズのリサイクルを困難にしている課題に着目した。

<Design: 価値をデザインするまでの歩み>

- アシックスで大切にしている価値は「しっかりしたものづくり」に取り組むこと。中でも、「NIMBUS」シリーズは最も機能性の高いランニングシューズの一つであり、開発・製造に至るまでに社内の厳しい評価指標がある。最後まで細かい指摘があったが、それらをクリアし、サステナビリティへアプローチした「NIMBUS MIRAI」の商品化が実現した。

プロジェクト関係者

(株)アシックス	企画・開発・製造・販売
テラサイクルジャパン合同会社	回収・リサイクル
検討中	再利用化

